

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

グループ経営理念

エネルギーとヨウ素の開発・生産・販売を通じ、快適で豊かな生活と持続可能な社会の実現に貢献

経常利益  
75億円国産天然ガス生産量  
1.8億m<sup>3</sup>/年ヨウ素販売量  
1,900 t/年お客さまアカウント数  
21万件

## ② 中長期の経営戦略

## 1. コア事業戦略

資源開発・エネルギー事業・ヨウ素事業で、水溶性天然ガスのリーディングカンパニーとして千産千消を推進、ヨウ素増産に取り組む

## 3. 人材強化戦略

社員一人ひとりが能力を開発・発揮し高い目標に向かって挑戦する企業風土を実現

## 2. 未来事業戦略

再エネ事業に30億円以上投資し地熱・洋上風力に挑戦、CCS事業検討、2030年頃までに森林保全事業参画を目指す

## 4. DX推進戦略

2030年を見据えたDX基盤を整備し、AI導入を含む施策を推進

## ③ 対処すべき課題

## ① エネルギー安定供給

- ・南関東ガス田の水溶性天然ガスを国産資源として安定的に開発・生産
- ・脱炭素社会でも重要なエネルギー源として位置付け、S+3Eを実現

## ② ヨウ素需要対応

- ・医療・電子産業での需要拡大に対応し増産体制を整備
- ・ペロブスカイト太陽電池の主要原料として社会実装に貢献
- ・チリと日本に偏在する希少資源の安定供給責務

## ③ 地域貢献・持続可能性

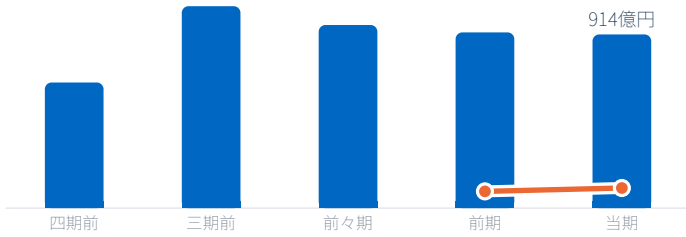
- ・脱炭素燃料・技術供給で地域のメインプレイヤーとして活躍
- ・再生可能エネルギーと地域資源活用で脱炭素化に貢献
- ・多様な人材確保と社員能力開発・活躍領域拡大を推進

## 面接で使えるポイント

- ・南関東ガス田の水溶性天然ガスは国産資源で温室効果ガスが少ないことから、脱炭素社会でも重要な主力エネルギー源
- ・ヨウ素は医療から電子産業まで需要が拡大し、ペロブスカイト太陽電池の主要原料として注目を浴びている希少資源
- ・中計2027で再エネ事業に30億円以上投資し、地熱・洋上風力などの次世代事業に挑戦する成長戦略

証券コード 1663

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
91.4億円営業利益率  
11.6%財務健康度  
80点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
755万円  
鉱業内 4位/5社平均年齢  
42.6歳  
鉱業内 3位/5社平均勤続  
16.4年  
鉱業内 3位/5社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: K &amp; O エナジーグループ(株)【1663】：決算情報

